2014.9

住宅部会通信

7月例会のご報告
「東日本大震災復興の現状視察」旅行例会報告　　担当世話人　槻橋修、中川英規

去る8月2日・3日・4日、雨と曇りの関西地方とは打って変わって、3日間通しての晴天が続いた宮城県・岩手県の沿岸部を中心に、震災から3年の月日が流れた東日本大震災の被災地を視察して参りました。
全体として、特に津波被害にフォーカスを当て、震災前・震災当時・そして3年経った復興の現状を概観し、土地とそこに住む人びとの営みがどのように変化し、同時に将来に向けて各地域でどのような取り組みがなされているか、という部分が大きなテーマとなった旅になりました。
宮城県内では、岩手県との県境に位置するリアス式海岸沿いの町、気仙沼市を起点として、牡鹿半島や石巻市、名取平野に位置する名取市閖上地区を、岩手県では、内陸部の一関市にて、被災した街を模型で復元する「失われた街展」を、また、「奇跡の一本松」で一躍有名になった陸前高田市を訪れました。

現在、どの地域も20代～40代の若い世代が中心となり、自分たちの生活を取り戻すべく、行政と積極的に議論を重ねながら、またNPOなど住民独自の活動体を起こしながら様々な問題に取り組んでおられます。
沿岸部の津波被害が大きな地域では、かつての生活基盤であった集落とそこにあったコミュニティの在り方そのものを再度見つめ直すことを足がかりとして、新たな未来を如何に自分たちの手で作り上げていくかということに重きが置かれているように感じます。つまりそれは、被害状況の把握と高台移転などの検討を通して、これまで疑いなく捉えていたその場所の潜在的な危険性と向き合うことであり、これまでの常識を見直していく大変な作業でもあります。事実、訪問先の宮城県気仙沼市唐桑半島大沢地区では国道45号線を現状よりも7m、岩手県陸前高田市では新たに造成する住宅地を現状よりも12～14m程度嵩上げする計画が進んでいます。
山を崩し、低地を埋め、地形を変えてまでも、“ 地元 ”にこだわり“ みんなで ”その土地を守り育てていくという姿勢を貫く現地の方々の姿には、頭が下がる思いです。

「ArchiAid」や「帰心の会」をはじめとした、建築家や各大学の建築学科の研究室・学生による復興支援の取り組みについても、各地での住民集合・話し合いの場の形成において、既に無くてはならないものになっていると感じました。上述の住民の活動をより活性化するとともに、将来に向けての課題のすくい上げと共有の一助として、広い視野を与えているように思います。
しかしながら、瓦礫の撤去などを終えたばかりで、防潮堤や住宅地の高台移転など土木・インフラ整備に取りかかり始めた現状から、住民のみなさんが自分たちの生活を取り戻すまでには、まだまだ長い復興の道のりが残されています。
われわれ建築家としては、今後も現地での取り組みに注意を払いながら、災害時を含めたこれからの建築の在り方について、社会の生活の確かな支えとなるよう、常に方法を思案する必要があると痛感した旅になりました。

ティーハウス建築設計事務所
槻橋修・杉山貴亮

9月例会のご案内　担当世話人：吉村美枝、眞野サトル

岡山建築見学会（JIA建築家大会　2014岡山　開催期間中）

歴史を紡ぐ街、岡山倉敷。様々なメディアを通してご存知の方も多いと思いますが伝統を住む継ぐ古民家の中に、カフェや雑貨屋、飲食店が入り込みユニークで趣のある雰囲気を醸し出しています。
古い民家の持つ魅力を十分に生かしながら、新しい機能や現代感覚を取り入れ、間取りや空間を再構築した現代住宅としてよみがえらせる倉敷建築工房の作品を中心に、岡山の魅力ある建築を見学し地域の建築家と交流する日帰り旅行の機会を設けました。

開催日　：　平成26年9月25日　(木)
定　　員：　20名程度(近畿支部からの参加者)　※先着順、定員を超えた場合はキャンセル待ちとします。

9/25予定：

・集合　8:30
※梅田界隈、貸切バス移動。

・大角雄三氏自邸の見学　11:00～12:30

・昼食　@キビキビ亭　12:45～13:30

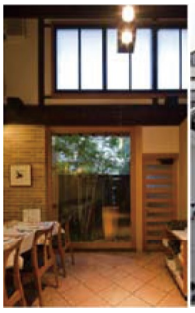
・倉敷にて倉敷建築工房の作品見学　14:00～17:30
（倉敷建築工房楢村徹設計室、廣榮堂、くらしき庭苑、林源十郎商店等）

※全国JIA会員と合流

・楢村徹氏の再生物件で懇談会　18:00～20:00
（トラットリアはしまや）
※全国の住宅部会関係者や岡山の建築家も交えて

・帰阪　20:00(23時ころ大阪着予定)
・全国大会岡山参加のため宿泊希望者は各自準備

参加費用　:15000円
申込み先　：office@archixxx.jp　　当日連絡先 :眞野携帯　　090-3928-2288



10月例会の予告　担当世話人：山中恵子、谷口美樹子

水島信氏講演会「アルヴァー・アアルトの空間展開」

ーヴィラ・マイレア以前とサイナッツアロ・タウンホール以降　それぞれの空間造形の系統と、その間を結ぶ空間的展開についてー

10月20日（月）　18：15～（開場17：45）　定員150名。　※詳細別紙、現在も募集中です。

参加希望者多数のため、会場を大阪市中央公会堂小集会室（3F）に変更しました。
当日お間違え内容お願い致します。

情報コーナー

・10月7日(火)建築家カタログ＆ＷＥＢ委員会15：00～16：00
・10月7日(火)作品展委員会16：00～17：30
・10月7日(火)世話人会17：30～19：00
於：JIA事務局会議室

【ちょっとコラム】
先日、中谷ノボル氏率いるアートアンドクラフトさんの20周年記念パーティーへお邪魔してきました。行ってみると、一般的なホテル等での祝賀パーティーではなく、なんと、クラブクアトロを貸し切っての盛大なライブでした。会社関係者、これまでのお施主さんなどなどを無料で招待して、上田正樹さんを呼んで、大盛り上がり。最後に中谷氏が舞台に上がって挨拶するというこれまでに経験したことのないようなぶっ飛んだ内容でした。やはり、常に人を楽しませることを考えておられるのだな～と感心した次第です。その心意気に本当に感動しました。
さて今後も、岡山見学や水島信氏の講演会など魅力的な例会が続きます。ご期待下さい！(TH)

JIA

JIA建築家大会 2014岡山

境界を越えて —総合化に挑む建築家の使命—

2014/9/25 thu —27 sat

岡山県瀬戸内市 虫明湾の朝日

大会日程

9/25 thu
- オープニング
- セミナー
- 倉敷の町並み紹介
- ウェルカムパーティー

9/26 fri
- セミナー
- 分科会
- シンポジウム
- 大会式典
- 基調講演
- レセプションパーティー

9/27 sat
- 建築家のあかりコンペ公開審査
- 連続セミナー
- エクスカーション

※詳しくは裏面をご覧ください。

基調講演

テーマ：建築の再コスモス化は可能か

講　師：オギュスタン・ベルク氏

9/26 fri 岡山シンフォニーホール
（岡山市北区表町1丁目5-1）
15:00〜17:00《入場無料》

[profile]
フランス国立社会科学高等研究院退任教授。1942年生まれ。84年から4年間、日仏会館フランス学長を務めるなど、長年日本に滞在し、日本の文化や風土に造詣が深く、地理学と存在論を融合した通態的風土論を提起し、独自の風土論を確立したフランスの著名な日本研究者。2006年日本建築学会文化賞、第16回日本文化デザイン賞など受賞歴多数。

[主な著書]
『空間の日本文化』宮原信訳／筑摩書房
『日本の風景・西欧の景観—そして造景の時代』篠田勝英訳／講談社
『都市のコスモロジー—日・米・欧都市比較』篠田勝英訳／講談社
ほか多数。

主　　催：公益社団法人 日本建築家協会

お問い合わせ：[中国支部] 〒730-0013 広島市中区八丁堀5-23　TEL082-222-8810
[岡山地域会] 〒700-0022 岡山市北区岩田町2-26　TEL086-233-1276

http://www.jia.or.jp/okayama2014/

LECTURE & DISCUSSION

アルヴァー・アアルトの空間展開

日時　2014年10月20日（月）18:15～(開場17:45)

場所　大阪市中央公会堂 地下１階 大会議室

講師　水島 信 氏 （建築家　バイエルン州建築家協会）

フィンランド、ヨーロッパからアメリカに至るまで、260余のアルヴァー・アアルトのほぼ全ての作品を取材し、この度、ユニブックより「アルヴァー・アアルトの空間　ー建物から建築へー」を出版されました、バイエルン州建築家協会の水島信氏をお招きし、新古典様式から設計が始まったアアルトが、モダンに傾倒し、離別し、そして独自の空間を創造するまで十年毎に作風が変化した、その空間造形の展開を解説して頂きます。

定員　：８0名（申込み先着順　参加費無料）

問合せ　：窪添正昭建築設計事務所　mail : masaakik@yo.rim.or.jp　TEL : 050-3631-4510

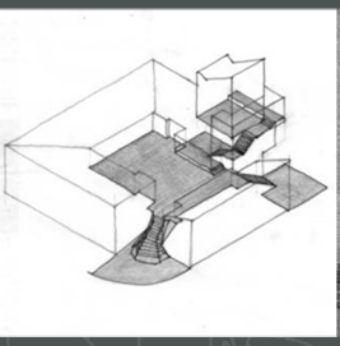
参加申込み：山中恵子建築設計室　mail :arc-ya.keiko@r7.dion.ne.jp　TEL : 06-6941-2520
お名前と連絡先、懇親会参加の有無をお伝え下さい

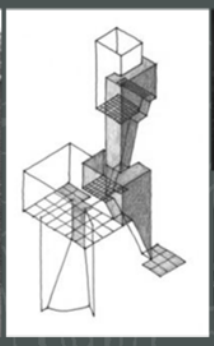
セミナー終了後に懇親会をおこないます（事前申込み要）

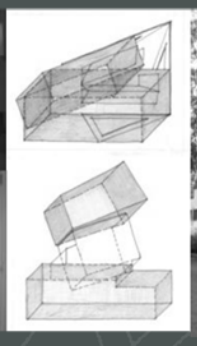
企画・主催　：(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域部会
共同主催　：(公社)日本建築家協会近畿支部住宅部会

水島信氏著「アルヴァー・アアルトの空間 -建物から建築へ- 」
購入予約のご案内

この度の講演会に合わせて、水島信氏の上記著作「アルヴァー・アアルトの空間 -建物から建築へ- 」の購入予約を受け付けます。
購入をご希望の方は、講演会の参加申込みの際に、購入希望の旨と、必要な冊数をお申し出下さい。
講演会当日に現金と引き換えにお渡しいたします。



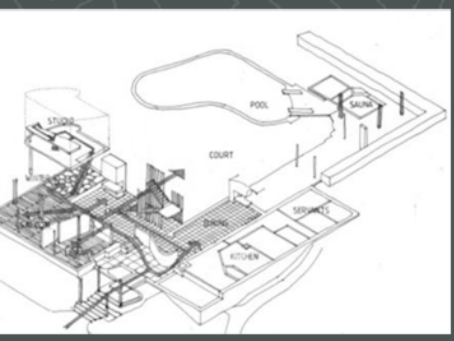


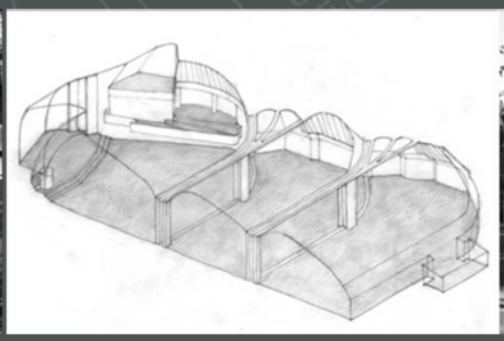


アルヴァー・アアルトの10年毎の空間造形の展開を、水島信氏自身による作成図版と撮影写真を駆使して解説し、加えて、見学した260余の作品の住所と明確な存在位置を示した地図も掲載しています。
アアルトの建築を理解する一つの見方として、また見学する際の水先案内として大いに参考となる著作です。
なお、この書籍は書店やネットでは販売はしておらず、著者自身からの直接購入でのみ入手可能です。
（ユニブックス発行　価格 3800 円+消費税）

目次

はじめに
第一章建物と建築
第二章建物巡歴
第三章新古典様式期　1918年～1928年
第四章モダン影響期　1928年～1938年
第五章独自性展開期　1938年～1948年
第六章空間完成期　1948年～1958年
第七章建築完成期　1958年～1968年
晩年期　1968年～1976年
第八章空間と建築
アルヴァー・アアルト造形作品年表
おわりに
参考文献





水島 信 氏 略歴
1947年　新潟市生まれ
1970年　芝浦工業大学建築学科卒業後、渡欧　ウィーン、ミュンヘンにて就業。
1981年　ミュンヘン技術大学建築学部卒業、Diplom Ingeniuer　の称号取得
1990年　バイエルン州建築家協会に登録、Architekt称号取得　独立後、ドイツ、日本で建築、都市計画を行う
著作・論文
2006年　ドイツ流街づくり読本-ドイツの都市計画から日本の街づくりへ- :鹿島出版会
2008年　アルヴァー・アアルトの住居観と住空間　住宅総合研究財団研究論文集 2008 年度版:丸善株式会社
2011年　続・ドイツ流街づくり読本 -日本とドイツの都市は何故違うのか- :鹿島出版会
2014年　アルヴァー・アアルトの空間 -建物から建築へ- :ユニブック
2015年　(仮)完・ドイツ流街づくり読本 -ドイツのランドシャフトと日本の風景と景観-:鹿島出版会